

第7期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

協議テーマ	障害福祉計画について 障がい者による作業等についてのアンケート調査の回答について
開催回・開催日	9月23日(水) 午後5時から
部会名・記録担当委員名	社会参加・就労支援部会 佐藤宮子
<p><b>【協議概要】</b></p> <p>(1) 障害福祉計画(社会参加・就労支援部会担当の部分)について</p> <p>(2) 障がい者の作業等についてのアンケート調査に対する回答についての協議</p> <p><b>【課題となった事項の整理】</b></p> <p>(1) 障害福祉計画(社会参加・就労支援部会担当の部分)について</p> <p>I 資料01~03(厚労省からの事務連絡)について事務局より説明</p> <p>II 障害福祉計画 第2章 第1節 基本目標 「福祉施設から一般就労への移行等」について</p> <p>III 障害福祉計画 第2章 第2節 指定障害福祉サービス 「日中活動系サービス」について</p> <p>IV 障害福祉計画 第2章 第4節 (4)成年後見制度利用支援事業~(7)日常生活用具費給付事業 (9)移動支援事業</p> <p><b>【課題解決に向けて】</b></p> <p>(1)</p> <p>I 事務連絡の中に、障害福祉計画の作成時期の変更に関する記載があるが、会長などとも相談のうえ、小金井市においては、予定通り今年度中の作成とすることにしたいとの説明があり、了承された。</p> <p>II 資料5の関連部分の説明があった。しかし、原案がほとんど赤字で、数値も未確定のままなので、検討は後回しとすることになった。</p> <p>また、9頁の項目の書き方について、11頁の○印の文言を記載したほうが分かりやすいとの指摘があった。</p> <p>III &lt;質問&gt;令和3年からの目標値が、前の計画の令和2年度の計画値より低くなっているものがあり(例えば、生活介護の場合、令和2年度の目標値201名なのに令和3年度の目標値が190人)、下げた明確な理由は何か</p> <p>&lt;説明&gt;目標値ではなく、実績数の増減から判断して、令和3年度以降の目標値を決めた。</p> <p>&lt;質問&gt;目標値を上回る実績数になるような場合、サービスが使えないという事になることがあるのか?</p> <p>&lt;説明&gt;総量規制を適用することもできるが、小金井市においては適用したことはない。</p> <p>&lt;質問&gt;実績数から算定したとすれば、やむを得ない数字なのかもしれないが、短所入所については、あまりに目標値の低下が過ぎるのではないかと 令和2年度の見込みの数値がコ</p>	

ロナの影響を受けた数値で、特に少ないのをそのまま使うのは無理があると思う。

<説明>確かに、令和2年の見込みは、かなり少ない。考慮してみる。

<意見>事業所では利用数を減らした対応をしたり、利用者側も感染の恐れから利用を控える傾向もあり、スグには元には戻らないとすれば、数値が少ないのも、あながち間違っていないかもしれない。

という事から、事業所などのコロナ対応について、少し話し合った。

事務局で再検討したうえで、案を再提示する。

23頁の方策に関しても、新しい生活様式について考慮して目標値を算定したというような文言を加えることになった。

IV <質問>4節(5)成年後見制度法人後見支援事業は、無(検討)・有(実施)という表記ではなく、確保数0とか1という表記にはしないのか？

<説明>厚労省の形式に沿った形で記載しているので、このような表記である。

意思疎通支援事業という表記についても同様。(小金井市障害者計画では、コミュニケーション支援事業という表記になっている)

41頁、移動支援事業についての方策のところには、適用拡大があったことを追加記載するという事になった。

<参考までに>

小金井市障害者計画では、142頁入所系サービス事業と152頁グループホームの整備の指標として、グループホーム数を、障害福祉計画に記載することになっているが、障害福祉計画では、共同生活援助という項目で、目標値としては、実利用者数を記載している

(2) 障がい者の作業等についてのアンケート調査に対する回答についての協議

アンケート回答の部分に、個人的なことを記載しているものがあるが、その部分を削除したほうがいいのかどうかの協議をした。

個人的な事といっても、個人情報を書かれているわけではなく特定できるわけでもない。インターネットなどで拡散するわけではなく、アンケートに協力いただいた方への返礼であるので、このままとすることになった。

**【次回の協議内容予定】** 今回、検討できなかった部分と、修正意見が出たところを再度協議する。

**【次回の開催日程】**

部会10月28日(水)

今回の専門部会は、全員対面(リアル)での開催となった。

少人数での話し合いなので、数人のオフラインとオンラインに分かれるよりは、一堂に会したほうが協議がしやすいだろうと考えたのではないかと推察できる。